

転倒・腰痛の労働災害防止セミナーを開催しました

令和7年に第三次産業で発生した休業4日以上の死傷者数は**全産業の45%**を占めており、その中で転倒災害は最も多く、全産業で発生した転倒災害の77%に上っています。（徳山労働基準監督署管内）また、全産業で発生した休業4日以上の死傷者のうち、被災者が60歳以上の高年齢労働者であるものは第三次産業が最も多く、**全産業の58%**に上っています。

そのため、令和7年11月27日に徳山労働基準監督署と（独）労働者健康安全機構山口産業保健総合支援センターは、ゼオンアリーナ周南で第三次産業を中心とした転倒・腰痛の労働災害防止セミナーを開催しました。

セミナーでは、転倒災害を発生させる環境要因の解消（ハード対策）のほか、同センター相談員（山口県理学療法士会会長）から**転倒防止体操等の実践**など身体機能の低下等への対策（ソフト対策）などについて説明がなされました。

身体機能の低下等への対策
（ソフト対策）

STOP 転倒災害はこちら



腰痛発生危険度チェック

小売業・介護施設のSAFE協議会はこちら

